

# 弓道いばらき

平成12年12月第22号

発行所 那珂郡東海村  
村松1292-2  
茨城県弓道連盟  
電 話 (029-282-3580)



## 感謝と期待

### 創立五十周年を迎えて

茨城県弓道連盟会長

関 宗 長

弓友の皆様お元気でですか。

お陰様で、県弓連は創立五十周年を迎え、さきに十月一日に五十周年記念射会並びに十一月二十七日に祝賀会を盛大に開催することができましたことは、誠に同慶にたえず、皆様と共に心から喜びあいたいと存じます。

この五十年を顧みますと、本県は水戸学の文武不岐の理念から、武芸を尊ぶ環境にあり、戦後、本県弓界の復興は早く昭和二十二年には志村国作会長により県弓界は発足、ついで日本弓道連盟創立に前後して現在の茨城県弓道連盟が正式に創立したものであります。

私は七代目の会長に当たりますが、県連盟初代の志村国作会長はじめ中野、奥崎、大久保、岡崎、鈴木の名会長に継承されそれぞれの会長はじめ役員個々の人格識見のもと、立派に成績をあげ、本県弓道のすばらしい歴史と伝統をつくりつつ発展して参りました。

特に本県の佐藤洋之助範士十段は、衆

議院議員として、弓道、特に学校弓道振興に政治を動かし、中野慶吉範士十段は、本県弓道界の再興を築いた恩人であり、日弓連の運営にも、非凡の力を発揮し、日本弓道史上に燦然と輝く偉業を残され、われわれ後輩の大きな誇りでもあります。

昭和三十年代中野範士は、学校弓道の振興指導者養成に力をつくし、県内弓道は上昇気流にのり、昭和四十九年茨城国体は総合二位、島根国体は総合優勝の成果を収め、昭和五十五年には、柴田猛が天皇杯に優勝、昭和六十三年に市毛道子が全国大会(女子)優勝、新設の筑波大学は連続上位入賞(女子)など、高成績を収め、後輩もこれに続いて頑張っております。

昭和五十年中野慶吉範士十段昇段機に会員及び、各層からの浄財を募り、本県弓道人の精進する指標として、「中野杯」「中野優勝旗」を創設、その記念大会は今年で二十四回を数えました。

昭和五十七年には、茨城県武道館が竣工、全国大会を相次いで開催し、特に昨年の全国遠征の弓道選手権大会は、その対応運営すべてに万全を期し、全弓連会長、並びに参加者から絶賛を受け面目躍如たるものがありました。

各市町村の道場並びに高校弓道場も新設が進み、施設も充実して参りました。県連の運営は、正副会長のもと、総務、指導、審査、競技、選手強化、施設の各部門の自主的運営も軌道にのり、時代の進展に合わせ、規約の改正、組織、機構の充実をはかり、現在はいっそう執行体制を整備し、指導者養成、競技力の向上、審査の充実、大会参加者の拡大、道場施設の充足など、毎年の重点目標を定め進めて参りました。

お陰様で県弓連は会員二二六名、弓道範士六名、教練士は百名を超え、高校弓道部七十四校、大学八校を数え、順調に伸長しています。特に範士は現在までに物故者を含め十二名、現役の範士六名

は関東地連では最高になります。少子化のなかにもかわらず、会員の増強をみており全国のランクも、会員数、称号者数、成績など、いずれも十位前後に位をしております、いずれも役員並びに会員各位のご協力のおかげであり、皆様のご精進に心から感謝するものであります。

さて、今日、世相は混沌として道義は頹廢し、ために青少年の不良化、社会性や思いやり、奉仕の心の由々しい状況にあり、「礼にはじまり礼に終わる」弓道のもつ至誠、礼節、和敬、克己の精神修養の必要性を痛感いたします。

会員の皆様、歴史と伝統ある武道としての弓道の奥深いわれを再認識し、更には、弓道を魅力ある生涯スポーツとして、定着発展させる明確な目標を持ち、二十一世紀に向けていっそう融和団結して精進、努力され、更には弓道人として社会発展にもいっそう貢献されるよう期待いたします。

県連創立五十周年に当たり日本の伝統を誇る弓道がいっそう精彩を放ち、益々発展することを期待しその一翼をになう茨城県弓道連盟並びに弓友の皆様のご発展を心から祈念いたします。

全日本弓道連盟理事  
関東地域弓道連盟連盟会長  
日本武道協議会理事

# 茨城県弓道連盟創立 五十周年にあたって



理事長  
木村 喜久雄

この度創立五十周年記念事業を展開いたすに当たり、戦後の弓道低迷期において、その復興に尽力され、今日の磐石なる組織へと導かれた歴代指導者らのご苦勞に対し、感謝の念を深くいたすものであります。

11月27日に実施済の記念式典において、組織運営功勞・競技方向上功勞等の方々を対象に功勞者表彰をし、また、近年、団体監督・選手の派遣に協力くださった関係事業所・企業をはじめ、個人道場を広く開放し、弓道の普及に貢献されている方々に対し、会長より感謝状の贈呈がありました。弓道のように個人の修練度の評価が全てである組織の發展・継続には難しいところがありますが、今回の受賞者のように、自己の修練と共に組織を考え、協調する「氣」を、全ての弓道人にもっていただければ幸甚なことと思いました。

五十周年を迎えた茨城県弓道連盟は、多くの関係者のご支援を頂きながら、この間、青少年健全育成を一つの目標として実行してきた諸事業が、県知事より高い評価をいただき、県知事より会長と共に感謝状を賜り、その栄に浴すことができました。ご報告いたします。

## 茨城県弓道連盟創立50周年記念式典



## 組織運営部門功労者表彰

[対象基準] 昭和55年度以降通算で、正副会長・理事および監事を3期(6年)以上在役した者。ただし、正副会長は在任期間を問わず対象とし、物故者と12年度の未登録者は除外。

氏名	役員名・在役年度(55年度以降)	在任期間	氏名	役員名・在役年度(55年度以降)	在任期間
関 宗長	会長・S55～現在	21	芹沢雄二	理事・S55～S60、H12～	17
矢吹三郎	副会長・S55～H8	21	高橋平吉	監事・H2～11	11
山口省吾	名誉会長・H9～現在	12	久保田清	理事・S55～現在	21
田原トシ	副会長・S59～62	3	天 冴子	理事・S57～現在	19
柴田 猛	理事・S63～H7	21	介川 達	理事・S57～現在	19
関根村大	副会長・H10～現在	21	須田 勝	理事・S59～現在	17
木村喜久雄	理事・S55～H5	11	立川久泰	理事・S55～H5	14
猪野嘉久	副会長・H6～現在	13	川又正昭	理事・S62～現在	14
宮崎康美	理事・S55～S62、H7～H11	14	張替謙一	理事・H2～現在	11
竹下孝雄	副会長・S55～62	17	曲山伊之吉	理事・S55～H1、H12～	11
赤津 徳	理事・S62～現在	21	市毛道子	理事・H2～現在	11
	理事・S57～62、H2～現在		檜山芳雄	理事・H2～現在	11
	理事・S55～H7		浅野好次	理事・H2～現在	11
	監事・H8～現在		浜野 昇	理事・S63～H1、H9～現在	6
			明間 勲	理事・H2～H7	6

## 競技力向上功労者表彰

[対象基準] 昭和55年度以降において、全国・関東規模大会で優勝した個人・団体を対象とする。ただし、2～3位に入賞した個人・団体は平成2年度以降とする。また、平成2年度以降の全日本選手権大会2～5位入賞者は適用内とする。

該当者氏名(五十音順)	種別	大会名	年度	支 部 名
相 巢 博 之	選	全日本実業団弓道大会	H6	東海村役場
明 間 之 勲	選	関東地域弓道選抜選手権	S63	取手市
足 立 喜 道 次	監	全国青年大会	H7	八 郷 町
市 毛 喜 道 子	選	全日本弓道大会	S63	水 戸 市
猪 野 嘉 久	監	国 体(鳥根県)	S57	那 珂 町
	監	国 体(山梨県)	S62	
今 村 好 男	選	明治神宮奉納全国大会	H2	茨大教職員
石 井 幸 子	選	高校総体	H2	水 戸 市
池 田 秀 臣	選	全国青年大会	H8	千代田町
石 井 井 子	選	明治神宮奉納全国大会	H10	ひたちなか市湊
石 野 誠 忠	選	全国弓道大会	H12	ひたちなか市湊
五十野 久富	選	全日本教職員弓道大会	H9	教育庁
飯 岡 賢 一	選	関東教職員弓道大会	H10	茨 城 町
園 城 寺 悠 希	選	関東教職員弓道大会	H12	教育庁
大 竹 悠 希	選	全国青年大会	H11	日 鉦
大 金 喜 代 子	選	全日本教職員弓道大会	H4	教育庁
	選	全日本教職員弓道大会	H7	
萩 原 裕 一	監	全国高校総体	H2	友 部 町
	選	関東教職員弓道大会	H7	
川 瀬 政 人	監	全日本勤労者弓道大会	H10	神 栖 町
北 島 瑞 男	選	関東教職員弓道大会	H11	下 館 市
	選	関東教職員弓道大会	H12	
栗 原 博 明	選	関東教職員弓道大会	S62	常陸太田市
	選	関東教職員弓道大会	H7	
黒羽根 成 子	選	全日本実業団弓道大会	H2	東海村役場
久保田 清	選	全日本弓道選手権大会	H4	藤 代 町
	選	全日本弓道選手権大会	H6	
	選	全日本弓道選手権大会	H6	男子 最高得点賞
航空自衛隊	選	全日本弓道選手権大会	S61	産 業 別 1 位
佐 川 裕 子	選	全日本教職員弓道大会	H4	女子団体3位
	選	全日本教職員弓道大会	H7	女子団体2位
斎 藤 千 代 子	選	全日本教職員弓道大会	H4	女子団体3位
	監	全国高校総体	H8	男子団体1位
	監	国 体	H9	少年男子遠の1位(石岡商高校)



白石直之	選選	関東教職員弓道大会	H11	男子団体2位	教育庁
柴田猛	選選	関東教職員弓道大会	H12	男子団体3位	
	選選	国体	S57	少年男子1位(石岡商高校)	教育庁
園部勝浩	選選	関東教職員弓道大会	H11	男子団体2位	
高野則潤	選選	全日本実業団弓道大会	H4	男子個人1位	日立電線
高田中野	選選	全日本実業団弓道大会	H3	女子個人1位	東海村役場
高野順	選選	全国青年大会	H11	茨城代表1位	日立中央
	選選	全日本教職員弓道大会	H9	女子団体3位	教育庁
	選選	全日本教職員弓道大会	H7	女子団体2位	
	選選	全日本教職員弓道大会	H7	女子個人1位	
高田橋義之	選選	関東教職員弓道大会	H10	男子団体1位	茨城町
高田原ト	選選	東日本女子弓道大会	H3	称号個人2位	上浦市
網川久子	選選	東日本女子弓道大会	H6	称号個人2位	友部町
	選選	東日本女子弓道大会	H9	称号個人2位	
	選選	東日本女子弓道大会	H12	称号個人3位	
	選選	全国青年大会	H7	個人1位	八郷町
	選選	全国青年大会	H11	個人1位	日立中央
堤寺門仁一	選選	全日本勤労者弓道大会	H10	茨城代表2位	三菱化学
寺本宏光	選選	全日本実業団弓道大会	H6	産業別2位	東海村役場
東海村役	選選	全国官公庁弓道大会	H6	団体1位	
	選選	全日本勤労者弓道大会	H10	茨城代表2位	三菱化学
富森俊一	選選	関東教職員弓道大会	S61	男子個人1位	境町
中嶋村吉	選選	関東地域弓道選手権	S55	個人1位	阿見町
中永日根	選選	全国青年大会	H7	茨城代表1位	八郷町
根本本	選選	全日本実業団弓道大会	S60	団体総合3位	日製日立
根本英	選選	全日本教職員弓道大会	H12	男子個人1位	茨城高専
	選選	関東教職員弓道大会	H9	男子個人1位	茨城高専
	選選	関東教職員弓道大会	H10	男子団体1位	
張替謙一	選選	全日本弓道選手権大会	H2	男子個人4位	三和町
	選選	全日本弓道選手権大会	H3	男子個人3位	
	選選	全日本弓道選手権大会	H4	男子個人2位	
	選選	全日本弓道選手権大会	H5	男子個人3位	
	選選	全日本弓道選手権大会	H7	男子個人3位	
	選選	全日本弓道選手権大会	H7	男子個人最高得点賞	
	選選	全日本弓道選手権大会	H9	男子個人4位	
	選選	全日本弓道選手権大会	H10	男子個人5位	
平戸信行	選選	全日本弓道大会	H11	男子個人有段者1位	ひたちなか市湊
日立電線	選選	全日本実業団弓道大会	S63	産業別1位	日立電線
	選選	全日本実業団弓道大会	H6	産業別1位	
舟前橋典雄	選選	全国青年大会	H7	茨城代表1位	八郷町
三菱秀明	選選	全日本教職員弓道大会	H7	男子団体1位	ひたちなか市湊
	選選	全日本実業団弓道大会	H3	産業別2位	三菱化学
	選選	全日本実業団弓道大会	H5	産業別2位	
村越紀久	選選	東日本女子弓道大会	H5	4段以上個人1位	大洗町
村山久	選選	全日本勤労者弓道大会	H10	茨城代表2位	波崎町
諸橋昭	選選	関東地域弓道選手権大会	H8	称号個人2位	日立電線

感謝状贈呈対象者

氏名	対象内容	氏名	対象内容
中村洋一	相談役として、茨城県弓道の振興普及に寄与するところ大。	日本原研	国体選手の強化育成に貢献大。(小泉民夫所属)
横山亮二	同上	㈱伊勢甚	同上(石井幸子所属)
木村芳城	同上	ボンベルタ	同上(平戸信行所属)
中野喜久男	同上	㈱平沼産業	同上(池田秀臣所属)
山口省吾	同上(組織運営部門功労者候補と重複)	㈱勉強堂	同上(菊池俊和所属)
五来清	私設道場を開き、地域住民に解放するとともに、弓道教室を継続的に実施し、多くの弓道愛好者を育成している。	大洗町教育委員会	同上(石井和子所属)
国谷保五郎	同上	㈱茨城エンジニアリング	同上(川崎美香所属)
吉成正俊	同上	高体連	学校教育を通して弓道振興普及と上寄するところ大。
芹沢雄二	同上(組織運営部門功労者候補と重複)	弓道専門部	同上
須田勝	同上	中体連	同上
㈱三菱化学	国体選手の強化育成に貢献大。(川瀬政人所属)	弓道専門部	同上

# 墓目(引目)由来

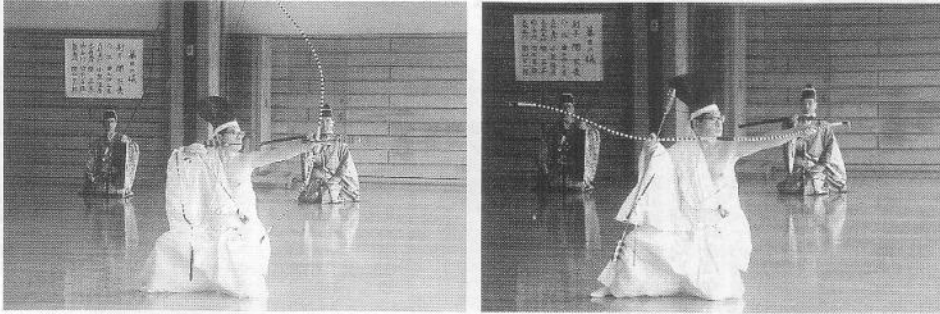
我が国は古来より、弓箭の徳を以て道の教えと天下の平らかなることを祈つて来た。これこそ射法また射法として、天の自然に添い、国の法にのっとり身を正す事が即ち、弓の法と考えていたのである。したがって、奈良、平安の昔から政りごと始めには、必ず射礼が行なわれていたことは、いうまでもなく、宮中に今なお伝わる、皇子誕生時の鳴弦の儀もこの伝承を示すものである。

弓の儀式でもっとも重いものは、鳴弦の儀と、今日行なう引目および百手の式であり、弓道始め弓始めなど今も欠くことの出来ぬ重要な儀式とされている。

引目とは矢じりの一種で長さ約十二センチ、周囲約十五センチの大きな筒をいい、これを射るときは相手をききつげず、音により弓の威徳を示した。

引目の儀には、誕生引目と屋越の引目とあり、共に新しい生の誕生を祈り、魔生の退散を示す儀であり、神事にも用いられている。

引目の儀における射手は「謙譲の心」と、「回手を行なうにも生死一如」の真剣な境地が、渾然一体となり、寸毫の油断もなく、一呼吸といえどもいやしくもせず、法に従い、規則う心は、行ずる者と共に、見るものをして息詰まる真剣な思いに導くものであろう。



## 「弓」むかし話

鎌倉時代(暦仁元年一一三三)源頼朝の家来で、上野十郎朝村(下野国綱戸住)は、將軍藤原頼経に従つて上洛した。京都、右大臣藤原良実公の邸を訪ねた時、公の若君が愛玩していた小鳥が籠から逃げて飛び去り、橘の梢に留まっていた。彼の鳥を殺さず射落とせと命じられた上野十郎は「墓目」矢の鏃に空洞を削り、この矢を小鳥に向けて射放し、小鳥を空洞に射込んで無傷のまま捕えたという。この妙技に居並ぶ一同驚嘆したことは勿論で、上野は褒美として、右大臣から「衣」を將軍から「太刀」を貰い受けたという名射手の話(吾妻鏡)

一、八幡太郎義家は、甲冑三領重ねを射抜く程の弓勢強き射手であった。前九年衣川の戦(康平五年一一〇六)にて鎧を落ちのびる藤原貞任を討ちた時、義家は「衣のたてはほころびにけり」と詠みかければ、貞任は馬を止めて振り返えり「年を経し糸のみだれの苦しさ」と上句を読み返した。その優雅、風流のたしなみに感じ、惜しい人物、討つに忍びずと義家は、構えた矢を外して見逃した美談がある。力量の話し、鎮西八郎為朝は、猿臂にして射を良くす、と称され一

矢で軍船を覆したといわれる程の豪弓であったが、甥の義経は、壇の浦の戦いで弓を取り落とした時、身の危険を省みず、単身で敵前へ馬を乗り入れ拾い帰った。後で部下から「たかが弓一張で大将らしくもない無謀な振舞い」とたしなめられたので義経は「叔父が朝のような強い弓なら、わざと敵に渡しても良いが」と述べ懐した程の弱い弓であったらしい(義経は小柄で、身は軽く豪傑武将というより、知将として知られている)

四、梶原景季は、腋に梅花の枝を押しつけて戦場を疾駆したという、極めて風流な武士であった。

五、那須与一宗高(下野国)は、屋島壇の浦合戦で、波高き海上で小舟の竿頭に結ばれた軍扇の要を射当てる有名この時、宗高は「日の丸を射るは、天子に矢を向けるも同じである、乃ち扇眼を断つ」と言いながら、心には「波静ませ給え、八幡大菩薩、南無八幡大菩薩」を祈念しつつ、海に馬を乗り入れた小舟の揺れと矢飛びの関係、常識では考えられぬ命中。まさに神の庇護によるものか!! 幸運な一矢であった。

六、墓目の元祖は、源三位頼政(仁平三年一一一五)京都近衛院に毎夜現れる怪物鶴(ぬえ)首は猿、体は虎、尾は蛇であったという、

七、鳴弦の起原は、源義家、京都堀河院の御不例で大変お苦しまりの刻限に南殿に控えて鳴弦すること三度、「我がこそは、八幡太郎義家なるぞ」と名乗りを上げると、堀河院のお苦しみが治まったという。(それ程名高き弓の名手)

八、日置禪正政次、大和国多武峯の戦で射残り矢一本があつて、緑陰に休息していた時、敵兵これを見て密かに近付き残り矢を射払わせて討取るうと、柄を構えて詰寄った、政次これに気づいて、咄嗟の機転に、弦音をさせ大声をかけた、敵兵は射損じたものと早合点し、楯を投捨てて突進して来るを、政次最後の一矢で敵を射伏せたという。矢声で敵の気を奪う、戦場の駆け引きが見事に効を奏した、これが矢声の名じまりという。

その他人名、達人の話は多くある。中国で揚柳の葉に百発百中の話、虎と見て放した矢が巖石を貫いた話欧州では、子供の頭上林檎を射落とした話、それも主人公の手柄、修業の立派さ、そして、技能修業が並大抵でなかったことが、裏付けて語り伝えられている。

# 指導部の方針と 計画について

指導部長 張替謙一

本年度の指導部の講習会については、方針と目的については、代議員会にても趣旨について述べ了解を得ましたが、過去の講習会の持ち方を総括し、会員諸氏の求むるところを斟酌して、従来の金太郎船風の講習内容ではなく、新たに講習会の回数と講師の数を増やし、体配射技に基本をおき、その他に各回ごとに目標を設定し、射人として知っておかなければならない基礎的事項の指導の徹底をはかったところにあります。

以下に本年度の指導部の方針について揚げておきます。

## 「平成十二年度指導部方針」

- 目標 各段階別レベルアップを図り、県外大会、県外審査に通用する射人を養成する。
- 一、本年度の目標
  1. 県内講師の養成
  2. 講習会の充実
  3. 講習会について
- 二、目標達成のために次のことを実施する。
  1. 県内講師の育成

- ア 統一した指導と講師としての教養を深める。
- イ 県外講習会派遣者の選抜
- ウ 適切な人材派遣とその活用 (指導力・年齢等)
- エ 受講後の伝達義務
- オ 講習会の充実
  1. 各段階別に指導案を作成し、指導部主導のもとに統一された講習会を実施する。
  - ア 県講習会と地区別講習会との指導内容について検討する。
  - イ 県講習会の各段階ごとに4回完結の講習会とし、各回の指導目標を徹底する。
  - ウ 地区講習会は地区の課題に沿って各地区2回実施する。
- カ 講師の適切な配置をはかる。
  - ア 年齢・経験を考慮し、講師を組み合わせる。
  - イ 三段以下、四五段、称号者講習会には指導担当者は必ず出席し、指導の統一と円滑化をはかる。
  - ウ 事務担当者はすべての講習会に出席し事務の円滑化をはかる。
- キ 指導担当、事務担当の二部に分ける。
  - ア 両部を合わせ各地区から一名は指導部に入れる。

十一月十五日現在、講習会も全二十一回の計画の中で、あと称号者の部、四五段の部各一回づつを残すまでになりました。三段以下の部、四五段の部にいたっては、毎回九十名以上の参加者を得て、内容、日程、講師依頼等に四苦八苦しましたが、今年度の大会や審査を眺める限り、昨年とは違って体配等全体のレベルがあがったように感じられます。称号者の講習会については若手の参加者が少なく盛況であったとは言えないようです。

茨城には現在四十代の教士は一人しかいません。茨城弓界の次の世代を考えると危機感を覚えます。来年度の課題として考えていきたいと思えます。

以上、本年度の計画実施の中であらわになった問題点、改善点および熟考しなければならぬ点等々ありますが、来年度の改善点としていきたいと考えています。

講習会の充実のために会員のみならずのご意見をお願いします。

稽古修行の心得についての竹林派 教歌教首 (意訳 張替謙一)

弓はただ射てみせ  
貌かほもむやくなり  
何ぞなげにけだかきぞよき  
(意訳) パフォーマンスはいかんで、ただ何となく平常のままに気品のあるがよいのだ。

不器用を見かぎり弓をとまりなほ  
浮き世の中に射手はあらまし  
(意訳) 習ったことが遅々として出来ないのを、みずから不器用とするの修行を怠るかやめるかするならば、この定めなく乱れた世の中に真の射を伝える射手はいなくなってしまうぞ。

稽古には百矢射んより四つ五つ  
習いをせんと射るぞまされる  
(意訳) 初心の稽古の時はたくさん射て妙な癖をつけるより、習った正法のもにて真摯に四五本射る方が身に付くものだ。

## 平成十一年昇格昇段者

- 〔定期・臨時・錬士中央審査〕
- 教士 宮崎康美(仙台7/3)
- 六段 福田長作(仙台7/4)
- 関口宇一郎(秋田10/30)
- 塚田哲也(奈良5/3)
- 石井幸子(仙台7/5)
- 小泉魯久雄(仙台7/5)
- 山口恭弘(函館9/12)
- 小島敏和(福原12/4)
- 〔推薦〕
- 教士 介川 達 (教士号取得特別講習会 4/22、24東京)
- 曲山伊之吉 (教士号取得特別講習会)

## 平成十二年昇格昇段者

- 錬士 内藤澄子 4/22、24東京 (錬士号取得特別講習会)
- 六段 藤川良治 4/22、24伊勢 (錬士号取得特別講習会)
- 滝田新太(5/27)
- 〔定期・臨時・錬士中央審査〕
- 教士 関根村夫(5/25)
- 〔推薦〕
- 教士 網川久子(京都5/5)
- 関口宇一郎(東京12/23)
- 高橋輝子(東京12/23)
- 塚田哲也(名古屋6/4)
- 小泉魯久雄(名古屋6/4)

## 〔推薦〕

- 丸山真一(宇都宮9/10)
- 須田 勝(東京11/4)
- 堀 史(名古屋6/3)
- 小室セイ子(宇都宮9/9)
- 助川令子(八戸9/30)
- 駒場孝司(東京10/22)
- 石井和子(名古屋12/10)
- 堀江 栄(東京12/23)
- 平戸信行(東京12/23)
- 〔推薦〕
- 教士 沢田恒弥(5/25)

## 〔逝去〕

- 教士七段 吉田金太郎(87才)
- 錬士五段 石川 洋(89才)
- 錬士五段 古澤春二(81才)
- 五段 山下芳野(75才)



### 審査部を担当して

審査部長 介川 達

あつと云う間に三期目を迎えた。五カ年の歳月を重ねたことになる。

仕事を持って、弓道に親しみ、審査事務の仕事処理することは、曜日の変わる時間になることが多々あるが、多くの部員や弓友に支えられて始めて事が成立する。

諸先輩役員の方から来た道なので出来ることであろうが、私が担当して思うことは、各々が責任を持つことと相手を感じる心があるかが問題だ。

弓道いばらき二十二号に関会長が、鴨川全弓連会長の言葉を書かれた中に「自らを失うことなく、礼節を尊び、相手を思いやる心の豊かさを失いたくない」また「弓道の段位は力量の進歩状況を知ることであり、称号は、弓道人として磨く段階のプロセスを示すもので、絶対でないことを知るべきである」と書いている。

一例を上げてみると、それは言葉遣いだ、弓道の肩書きや段位が上で称号を持って、偉い人になった訳ではない、後輩弓人の育成の為の肩書きに過ぎないと思う、自分より年の大きい人に平気で上から物を言う困った人がいる。顔だけ大人で心は子供のままで、

申し込みの書類一枚送付すれば用は片付くであろうが、見えない先に居る人をおこで使うようなことだと思ふ。

一考を願いたい、一言「ヨロシク」とのメモ用紙が付いているだけで嬉しくなる。

人の心を動かすことは、暖かな相手を感じる心ではないでしょうか。特に若い弓人の中に何でも自己中心で非常識の固まりのような人が居るが、一日も早く弓道修練で己れの姿を写し、弓道の基本である人間完成、弓道が教えてくれる、謙や慎み、至誠、礼節、和敬、克己、反省等の精神を養い、学び、そして大人として成長してほしいものである。

#### 次に平成十二年度のAB審査の学科問題を示す

1. 無指定・初段
  - ①弓道の好きな点を述べなさい。
  - ②あなたはどんな気持ちで弓道に取り組んでいますか。
  - ③弓道人として弓道場でのマナーを列記しなさい。
  - ④危険防止のためどんなことを心がけていますか。
  - ⑤弓道八節を列記して簡単に説明しなさい。
  - ⑥弓道八節を順に書き足踏について述べなさい。

- ⑦技調べの目的と方法について述べなさい。
- ⑧弓構えについて大切な点を述べなさい。
- ⑨打起こしについて述べなさい。
- ⑩行射中に見るときが三回ありますが、それはいつですか。

#### 2. 二段・三段

- ①弓道を志した動機について述べなさい。
- ②弓道を修練して感じたことを述べなさい。
- ③弓道が他のスポーツと異なる点について述べなさい。
- ④審査を受ける意義について述べなさい。
- ⑤基本動作の留意点について述べなさい。
- ⑥基本の姿勢のうち跪座について述べなさい。
- ⑦開き足の仕方について述べなさい。
- ⑧胴造りの要点について述べなさい。
- ⑨大三のとおり方の留意点について述べなさい。
- ⑩残心(身)について述べなさい。

#### 3. 四段

- ①あなたの弓道修練の目的について述べなさい。
- ②審査を受ける意義と心構えについて述べなさい。
- ③弓の練習における量と質について述べなさい。

- ④危険防止にはどんな対策が必要ですか。
- ⑤弓道における技と心について述べなさい。
- ⑥基本体型について述べなさい。
- ⑦生気体について述べなさい。
- ⑧大三の構えが射に及ぼす影響について述べなさい。
- ⑨引き分けについて注意すべき点を述べなさい。
- ⑩離れについて述べなさい。

\* \* \*

弓道教本第一巻(四巻まで)出版されている)を中心にして、学科問題を良く勉強されることを望みます。

これからは中学生の受審者が増えることを願うとともに、弓道を始めた方には、一つの基準(審査)を目標にするのが良いのではないのでしょうか、弓道教室の先生や各地区、支部の先生は、後輩弓人育成の為に、受審の啓蒙に今一歩突っ込んだ指導を願うものである。弓道教室の生徒に四年間も受審の機会を作らない先生は、弓道を理解させずに離れていく弓人を作ることになるのではないのでしょうか。すべからず、指導者は自分より上位にゆける弟子を育成することが大切と思う。

### 平成十二年度に変更されたもの

- 一、県内・県外の申込先  
〒三一九一〇六  
東海村白方一六四三二一  
松山芳雄
- 二、審査料送金先  
郵便振替口座  
【茨弓連審査部】  
【〇〇一八〇二一九〇〇三八】
- 三、県内審査申込締切日 二十日前  
県外審査申込締切日 五十日前  
【平成十二年度の会員名簿に書いてあります、良く読んでください。】

平成11年度受審者・合格者数

	級	初段	弐段	参段	四段	計	五段
受審者数	428	570	376	182	84	1,640	95(57)
合格者数	428	522	342	50	21	1,363	16(8)
合格率%	100	92	91	27	25	83	17(14)

注 1. 級及び初段はAB審査の合計  
2. 五段は連合審査(水戸)結果上段は全体、下段( )は茨弓連会員

茨城県弓道連盟各種大会結果(平成11・12年度)

平成11年度

Table with 7 columns: 月日, 大会名, 表彰, 第1位, 第2位, 第3位, 最高得点. Rows include 4/11 勤労者弓道選手権大会予選会, 4/18 春季大会, 4/18 県武道館親善弓道大会, 4/25 遠的大会兼全日本弓道遠的選手権予選会, 5/16 県選手権大会, 5/23 県民総合体育大会, 9/19 第23回中野杯記念大会, 11/7 段位別大会, 11/28 支部対抗, 1/23 新春射会.

平成12年度

Table with 7 columns: 月日, 大会名, 表彰, 第1位, 第2位, 第3位, 最高得点. Rows include 4/9 勤労者弓道選手権大会予選会, 4/16 春季大会, 4/16 県武道館親善弓道大会, 4/29 遠的大会兼全日本弓道遠的選手権予選会, 5/21 県選手権大会, 5/28 県民総合体育大会, 9/17 第24回中野杯記念大会, 10/1 茨弓連創立50周年記念大会兼段位別大会(射詰), 10/1 茨弓連創立50周年記念大会兼段位別大会(段位別).

次のステップを目指して

競技部長 曲山伊之吉

秋冷の候、皆様には元氣にお過ごし  
の事お喜び申し上げます。

平成十一年度並びに平成十二年度の  
県内競技大会結果は別紙の通りとなっ  
ています。  
本年は各専門部に独立会計制度が実  
施されて、競技大会参加料の納入が競  
技部宛となり、皆様には大いにとま

どいが、あったと思います。出来るだ  
け理解し易く間違いないようご案内  
してまいりました。  
現在では参加申し込み、送金等順調  
に推移しています。  
亦地区当番として競技運営を担当し

て頂きました方々のご努力により競技  
進行も順調に過ぎました、紙上をお借  
りして厚くお礼申し上げます。  
尚競技内容等、総務を交え検討改善  
を心掛けて参りたいと考えています。  
皆様のご意見をお聞かせ頂ければ幸い

です。  
今後とも競技大会が皆様の健康の表  
現、次へのステップに繋がる場として、  
皆様の力で盛り上げて下さいますよう、  
お願いいたします。



茨城県弓道年表(八)

小野崎 紀男

昭和三十六年

1月8日	県弓連理事會	6月25日	石岡地区弓道講習會
1月15日	県弓連初射會	7月9日	国体弓道選手第二次選考會
2月6日	北茨城地区弓道講習會	7月16日	水戸市弓道連盟結成大會
2月7日	第三十一回県北弓道振興會	7月16日	土浦地区弓道講習會
2月16日	中野文弥没す(七八)	7月23日	県弓連臨時總會
2月26日	小笠原同門會茨城支部発足	7月23日	関東甲信越有段者選抜試合
3月7日	四段以上特別弓道講習會	8月6日	水戸地区弓道講習會
3月21日	第五十六回県弓道春季大會	8月13日	日立市民弓道大會
3月26日	故志村国作會長追悼射會	8月19日	県民総体高校弓道大會
4月2日	水戸地区弓道講習會	8月25日	県高校弓道選手権大會
4月7日	遅野井新太郎没す(七八)	9月10日	四段以上特別講習會
4月9日	県北地区弓道講習會	9月23日	第五十七回県弓道秋季大會
4月16日	第三十二回県北弓道振興會	9月24日	兼国体選手壮行會
4月	那珂湊一高弓道部設立	10月15日	日立地区弓道講習會
5月7日	第七回つづじ祭り弓道大會	10月22日	県北地区弓道審査會
5月14日	県高校弓道春季兼関東大會	10月29日	県南地区弓道審査會
5月16日	堀川辰之助没す(六八)	11月5日	笠間菊祭り弓道大會
5月28日	県連地区對抗射會	11月19日	茨城大学弓道招待試合
5月	那珂湊一高弓道部設立	11月23日	第五回県高校弓道秋季大會
6月4日	第十一回勝田五十射會	11月27日	針生平助没す(五三)
6月10日	国体弓道選手第二次選考會	12月3日	第五回茨城大学部對抗弓道試合
6月18日	東京対茨城教練士親善射會	12月10日	県弓連理事會・納射會
6月20日	藤井頼家没す(六〇)		
6月24日	県高校弓道選手権兼全國大會予選		

昭和三十七年

1月7日	県弓連理事會	2月11日	県高体連弓道専門部理事會
1月14日	県弓連初射會	2月18日	第十五回日立市長杯弓道大會
1月21日	第三十四回県北弓道振興會	4月8日	県弓道春季大會
1月28日	県弓道連盟教練士會	4月29日	県弓道審査會

昭和三十八年

1月13日	県連初射會	3月23日	県高体連弓道専門部總會
1月30日	阿内徳家没す(七四)	4月	笠間高校・緑岡高校・八郷高校・竜ヶ崎第二高校弓道部設立
2月23日	麻生頼孝没す(六八)	5月1日	霞ヶ浦高校弓道部設立
2月24日	第三十六回県北弓道振興會	5月12日	県下高校弓道春季大會兼関東大會予選
3月17日	「茨城県弓道連盟規約」改正施行	5月26日	県弓道春季大會

県内地方弓道大会報告

土浦桜まつり弓道大會

★と き 平成12年4月1日(学生の部) 平成12年4月2日(一般の部)

★と ころ 土浦市武道館弓道場 中学生 五八名

★参加者数 高校生 二七三名 一般 九三名

表彰

中学生の部

- ①野口 麻里竹(米)
- ②高野 順一(土浦)
- ③芦田 侑果(竹来)

高校男子の部

- ①佐藤 純筑(波)
- ②豊崎 大輝(石岡)
- ③青木 直人(霞ヶ浦)

高校女子の部

- ①熊谷 ひとみ(土浦)
- ②五十嵐 初美(土浦)
- ③菊地 礼乃(江戸川学園)

一般の部

- ①小野田 文雄(下館)
- ②川瀬 政人(神栖)
- ③吉田 諭史(藤代)

第二十九回村松山弓道大會

★と き 平成12年4月2日 ★と ころ 東海村体育館弓道場

★競技内容 四つ矢一回  
 皆中者による射詰  
 ★参加者数 三八〇名  
 表 彰

総合1位 大谷 楨 吾佐 和  
 総合2位 江 嶋 泰 朋水 城  
 総合3位 住 谷 瑞 穂(水戸)  
 射詰優勝 大 谷 忠(水戸)

第十回山さくら弓道大会

★と き 平成12年4月9日  
 ★ところ 新治村国谷弓道場  
 ★参加者数 一三七名  
 表 彰

射詰優勝 円城寺 賢(教職)  
 競射優勝 円城寺 賢(教職)  
 第2位 高 梨 嘉 隆(土浦)  
 第3位 浜 野 悦 子(下館)  
 第4位 谷 貝 豊(阿見)  
 第5位 助 川 忠 雄(新治)

射詰優勝 芳藤敏行(石岡)  
 射詰準優勝 金子佳代子(石岡)  
 射込優勝 芳藤敏行(石岡)  
 射込準優勝 金子佳代子(石岡)  
 第3位 吉野直樹(市立銚子)  
 団体優勝 石岡一高Aチーム  
 芳藤敏行  
 金子佳代子  
 鬼沢栄史

一般の部

射詰優勝 林 朱美(神栖)  
 射詰準優勝 川瀬政人(神栖)  
 射込優勝 佐藤至学(玉造)  
 射込準優勝 杉山義光(航空百里)  
 第3位 福田長作(霞ヶ浦)  
 団体優勝 神栖Aチーム  
 川瀬政人  
 三原勝雄  
 高橋平吉

第二十一回神栖町弓道大会

(神栖町制施行三十周年記念事業)  
 ★と き 平成12年5月13日  
 ★ところ 神栖町武道館  
 ★競技内容 射詰一手  
 射込四つ矢一回  
 団体三人一組(各一手)  
 高校生 四二名  
 一般 六四名

表 彰  
 高 校 生 の 部  
 射詰優勝 吉岡 和良  
 射込優勝 谷 嶋 一彦  
 第2位 菅 谷 孝典  
 第3位 清 宮 惇  
 団体優勝 石岡商業高校  
 谷 嶋 一彦  
 清 宮 惇

麻生町長杯弓道大会

★と き 平成12年5月21日(日)  
 ★ところ 麻生町民運動広場弓道場  
 表 彰

高 校 生 の 部  
 射詰優勝 吉岡 和良  
 射込優勝 谷 嶋 一彦  
 第2位 菅 谷 孝典  
 第3位 清 宮 惇  
 団体優勝 石岡商業高校  
 谷 嶋 一彦  
 清 宮 惇

佐久間 孝典  
 一般の部  
 射詰優勝 園 部 俊雄  
 射込優勝 足立喜次  
 第2位 鬼 沢 岳  
 第3位 天 田 義 明  
 団体優勝 新治支部  
 飯村弘子  
 天 田 義 明  
 沼 野 茂 男

第四十八回

★開催日時 平成11年6月13日(日)  
 ★開場 所 潮来高校弓道場  
 ★参加人員 一八〇名  
 表 彰

高 校 生 の 部  
 射詰優勝 菊地俊二(土浦工業)  
 射込優勝 菊地俊二(土浦工業)  
 準優勝 大 堀 勝 弘(潮来)  
 第3位 高 谷 智 子(土浦工業)  
 団体優勝 菊地俊二  
 高 谷 智 子  
 富 田 祐 二  
 花 的 賞 三 栗 明 子(鹿 島)

一般の部  
 射詰優勝 寺 島 瞳(筑波大学)  
 射込優勝 鬼 沢 岳(筑波大学)  
 準優勝 林 せ 津(香 取)  
 第3位 高 野 敬 光(玉 造)  
 団体優勝 住 江 正 子(筑波大学)

中山直樹  
 鬼 沢 岳  
 花 的 賞 ハンズシューティング(つくば)  
 藤 井 正(佐原)  
 小 武 内 明(神栖)

第四十九回

★開催日時 平成12年6月25日(日)  
 ★開場 所 潮来高校弓道場  
 ★参加人員 一三六名  
 表 彰

高 校 生 の 部  
 射詰優勝 海老原和典(霞ヶ浦)  
 射込優勝 金川真大(霞ヶ浦)  
 準優勝 倉 田 浩 平(土浦工業)  
 第3位 安 部 雅 宏(霞ヶ浦)  
 団体優勝 安 部 雅 宏(霞ヶ浦)  
 金 川 真 大  
 川 村 賢 広  
 花 的 賞 豊 崎 大 輝  
 白 坂 拓 也

一般の部  
 射詰優勝 小 堀 富 男(鹿 嶋)  
 射込優勝 君 島 洋 子(取 手)  
 準優勝 斎 藤 勝 美(玉 造)  
 第3位 松 田 義 城(筑波大学)  
 団体優勝 斎 藤 勝 美(玉 造)  
 佐 野 義 人  
 高 野 敬 光  
 花 的 賞 小 堀 富 男  
 松 田 義 城

県南弓道大会  
 ★と き 8月6日  
 ★ところ 取手市グリーンスポーツセンター弓道場  
 センター弓道場  
 ★競技内容 一手座射 四つ矢立射  
 ★参加対象者 高校生男女(県南地区)  
 一般(県南及び近隣地区)

表 彰

高 校 女 子 の 部  
 優 勝 高 谷 智 子(土浦工業)  
 準優勝 金子佳代子(石岡)  
 第3位 木 村 道 代(江戸川取手)  
 第4位 長 南 瑛 子(土浦工業)  
 第5位 稲 田 七 奈 子(東洋大牛久)  
 高 校 男 子 の 部  
 優 勝 中 座 由 行(土浦)  
 準優勝 平 田 充 常 総  
 第3位 青 木 直 人(霞ヶ浦)  
 第4位 菅 谷 孝 典(石岡)  
 第5位 豊 崎 大 輝(石岡)

一般三段以下の部  
 優 勝 楠 登 志 子(取 手)  
 準優勝 新 井 嵩 章 藤 代  
 第3位 小 林 英 博 藤 代  
 第4位 加 藤 雅 德 藤 代  
 第5位 西 田 雄 太 藤 代

一般四段以上の部  
 優 勝 塩 崎 裕 治(取 手)  
 準優勝 福 永 弘 藤 代  
 第3位 坂 本 允 藤 代  
 第4位 岡 田 耕 一 郎 藤 代  
 第5位 足 立 喜 次(八 郷)

平成12年度 全国および関東規模大会派遣選手・成績表

大会名	種別	選手名	成績(入賞)
全日本勤労者大会	団体	茨城日立(泉、川崎、根本、郡司、石井)	——
		日立電線(田中、柳橋、川野辺、吉田、村山)	——
全日本選手権大会 関東地域代表決定戦	男子・個人	張替、久保田、明間、荻原	久保田：代表獲得
	女子・個人	市毛、綱川、安藤、高橋(輝)	高橋：代表獲得
全日本選手権大会	男子・個人	張替、久保田	張替：2次不通過 久保田：1次不通過
	女子・個人	市毛、高橋	高橋：2次不通過 市毛：1次不通過
国民体育大会	男子・団体	池田、菊池、平戸	——
	女子・団体	石井(幸)、川崎(義)、石井(和)	近的5位 遠的7位 総合6位
関東地域選抜選手権大会	称号者の部	張替、久保田、明間、荻原	張替：射技優秀賞 茨城チームの中率60%
	有段者の部	浜野(悦)、須田(征)、小松、岩田、石井(和)	石井：大会第3位 茨城チームの中率50%
全日本遠的選手権大会	男子・個人	池田、平戸、小泉(民)	——
	女子・個人	石井(和)、市村、石井(幸)	——
全国青年大会	団体・個人	監督-村山 選手-鈴木、高居、緑川(慎)=高萩市	団体3位 個人1位=緑川
全国健康福祉祭大阪大会 (ねんりんピック)	団体	監督-川野辺 選手-渡辺、佐藤(至)、岡戸、石川、浜野(昇) 萩谷(宗)、広木	3位
全日本女子弓道大会 (東日本の部)	三段以下の部	佐々木 ひろみ	優勝
	称号者の部	綱川 久子	3位

平成十二年度  
高体連各種弓道  
大会結果

一、県高校春季大会兼関東大会  
県予選会

★日時 五月九日(男子)  
五月十日(女子)

★場所 県武道館弓道場

★参加数 男子 四十五校  
女子 五十五チーム

女子 四十一校  
四十七チーム

★結果 男子団体

1位 水戸一  
2位 霞ヶ浦A  
3位 東牛A  
4位 下妻A

女子団体

1位 境  
2位 日立商  
3位 水戸二  
4位 清真

以上、男子四校、女子四校は六月  
二日より甲府市で行われた関東大会  
に出場。

男子個人

1位 渡辺祐司(霞ヶ浦)  
2位 根本一成(水戸)

二、全国高校総体県予選兼県民  
総体兼国体茨城大会兼県高  
校総体

★日時 六月九日  
六月十日

★場所 県武道館弓道場

★参加数 男子 五十八校  
女子 五十九チーム

男子 五十八校  
五十九チーム

★結果 男子団体

1位 水戸一  
2位 下妻一  
3位 八千代

女子団体

1位 日立一  
2位 太田二  
3位 石岡商

男子個人

3位 鬼沢将志(石岡商)  
1位 中山美香(境)  
2位 内山未来(日商)  
3位 大柳美樹(八千代)

1位 河田雄次(八千代)  
2位 内田裕之(玉造工)  
3位 菊地俊二(東牛久)



女子個人

- ①位 細谷友美(石岡商)
  - 2位 弥水まり子(日立)
  - ③位 和久ひろみ(水海)
- (印は団体、個人とも八月二日から岐阜県可児市で行われた全国大会に出場。)

三、県個人選手権大会兼関東個人選手権大会兼予選

- ★日 時 八月二十二日(男子)  
八月二十二日(女子)  
八月二十三日(決勝)
- ★場 所 県武道館弓道場
- ★参加数 男子 五四九名  
女子 七二二名

★結果 男子総合

- 1位 池辺祐司(霞ヶ浦)
  - 2位 石井 隆(水戸一)
  - 3位 豊崎大輝(石岡一)
  - 4位 木村匡志(八千代)
  - 5位 山田康博(水戸一)
  - 6位 青木直人(霞ヶ浦)
  - 7位 類家直樹(東洋大牛久)
  - 8位 袖山英哲(下館一)
  - 9位 芳藤敏行(石岡一)
  - 10位 倉持伸輔(水戸一)
- 女子総合
- 1位 小田亜希子(高萩)
  - 2位 岡野真由美(石岡商)
  - 3位 鹿志村絵美(水戸三)
  - 4位 青木悠喜(境)

- 5位 古原 恵(水戸二)
- 6位 会沢英美子(日立二)
- 7位 伊藤綾乃(石岡商)
- 8位 小倉奈津子(竜ヶ崎一)
- 9位 小倉恵生(下館一)
- 10位 寺崎嘉余子(竹園)

男女以上十名は九月九日から東京で行われた関東高校選抜弓道個人選手権大会に出場。

四、秋季大会兼中野優勝旗記念弓道大会

- ★日 時 九月二十二日(男子、女子)
- ★場 所 県武道館弓道場
- ★参加数 男子 五十八校  
女子 六十二校  
六十七チーム

★結果 男子団体

- 1位 水戸一
  - 2位 石岡商
  - 3位 佐和
- 女子団体
- 1位 高萩
  - 2位 水戸二
  - 3位 水戸三
- 男子個人
- 1位 山中 忠(境)
  - 2位 大谷孝啓(水戸一)
  - 3位 福地 淳(水戸一)
- 女子個人
- 1位 堀内絵梨菜(清真)

- 2位 木戸愛美(太田二)
- 3位 岸谷実希(石岡二)

五、県高校弓道新人大会兼全国高校弓道選手権大会県予選会

- ★日 時 十一月二十一日(女子)  
二十二日(男子)
- ★場 所 県武道館弓道場
- ★参加数 男子 四十四校  
五十五チーム

★結果 男子団体

- 1位 霞ヶ浦
  - 2位 水戸一C
  - 3位 鉦田一
  - 3位 清真
- 女子団体
- 1位 日立一
  - 2位 水戸二
  - 3位 高萩
  - 3位 水戸一
- 男子個人
- ※1位 根本将徳(下妻二)
  - 2位 沼尻真也(守谷)
  - 3位 岸田智哉(境)
- 女子個人
- ※1位 吉原 恵(水戸二)
  - 2位 会沢英美子(日立一)
  - 3位 真壁依子(上浦三)
- 団体男女各一位及び個人※印は三月二十三日から福岡で行われる全国

六、第四十四回関東高等学校弓道大会

- ★日 時 六月三、四日
- ★場 所 甲府市小瀬運動公園弓道場
- ★参加数 男子 三十六校  
女子 三十六校

★結果 男子個人

- 準優勝 類家直樹(東洋大牛久)
- 団体技能優秀 東洋大牛久

七、第四十四回全国高校弓道大会

- ★日 時 八月二、四日
- ★場 所 岐阜県可児市弓道場
- ★参加数 団体 男子 四十八校  
女子 四十八校  
個人 男子 九十六名  
女子 九十六名

★結果 団体

- 男子 八十五名
- 女子 八十五名

八、第十九回関東高校選抜弓道個人選手権大会

- ★日 時 九月九日、十日
- ★場 所 明治神宮至誠館
- ★参加数 男子 八十五名  
女子 八十五名
- ★結果 男子 六位 類家直樹(東洋大牛久)  
八位 木村匡志(八千代)
- 編集委員 岡部俊雄 網川久子  
廣水千加代

★大変遅くなりましたが「弓道いばらき」(十二号)をお届けいたします。今回は茨城県弓道連盟創立五十周年にあたり、関係者に寄稿頂きました。去る十一月二十七日には茨城県弓道連盟創立五十周年の記念式典が水戸プラザホテルにおいて盛大に執り行われました。これも一重に諸先輩のご尽力の賜物と改めて深く感謝を受けました。そしてこれを機に茨城県弓道連盟の益々の発展を願って会員相互の親睦と技術力の向上のためご協力をお願いいたします。(岡部)

編集後記

★大変遅くなりましたが「弓道いばらき」(十二号)をお届けいたします。今回は茨城県弓道連盟創立五十周年にあたり、関係者に寄稿頂きました。去る十一月二十七日には茨城県弓道連盟創立五十周年の記念式典が水戸プラザホテルにおいて盛大に執り行われました。これも一重に諸先輩のご尽力の賜物と改めて深く感謝を受けました。そしてこれを機に茨城県弓道連盟の益々の発展を願って会員相互の親睦と技術力の向上のためご協力をお願いいたします。(岡部)